

「ADMi-21[®] G7」の機能

ADMi-21 G7 Standard

・ICT資産管理

構成アイテムの情報を識別・維持・検証することにより、ICTインフラサービスを管理する。また他の管理プロセスへ正確な構成情報を提供するなどの「構成管理機能」を提供するADMi-21の基本機能。

ADMi-21 G7 Enterprise

ADMi-21 G7 Standard の機能に加えて、以下のITIL運用管理プロセス機能が含まれる。

・インシデント管理

サービス品質を阻害・低下させるインシデントの検知・記録・分類を行ない、回避策を検索可能とし、迅速な解決・復旧を図る。

・問題管理機能

エンドユーザーパソコンのハードウェアやソフトウェア障害の根本的な問題点を追究するため、問い合わせ情報、構成機器情報、障害情報をデータベース内で一元管理し、効率的に問題解決を行う。

・変更管理機能

システム変更の際、すべての変更内容やリスクを評価し適用を承認することで、システム利用者や顧客への影響を最小限に抑える。

・リリース管理機能

「変更管理機能」で承認した変更に沿い、ハードウェアやソフトウェアの実装を計画し監督する。

・サービスレベル(SLA)管理機能

SLAに基づきサービスレベル指標項目の監視・記録・報告・参照を行ない、評価会議や改善管理を含めたサービスレベル管理を支援する。

オプション

・SPCエージェントライセンス

管理対象となるパソコンからハードウェア固有の情報と導入ソフトウェア情報およびレジストリー / INIファイル情報を収集。

・Asset Collaboration-Kit

他社インベントリー収集ツールとの連携でハードウェア固有の情報と導入ソフトウェア情報を取り込む。管理対象が数千台～数万台規模でも運用管理者に負担を与えず、定期的に情報を収集できる。

・Barcode-Kit

プリンターや備品などオンラインでの情報収集が不可能なものも、バーコードによる効率的な管理が可能。

・Incident Collaboration-Kit

ネットワーク機器やサーバーの稼働状況を監視する監視サーバーと連携、イベント情報の一元管理で障害に対して迅速な対処が可能。

・DB Toolkit

ADMi-21管理下のデータを取得・更新するためのAPIライブラリを提供、Web独自デザイン画面作成や外部システムとの柔軟な連携などが可能。